

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

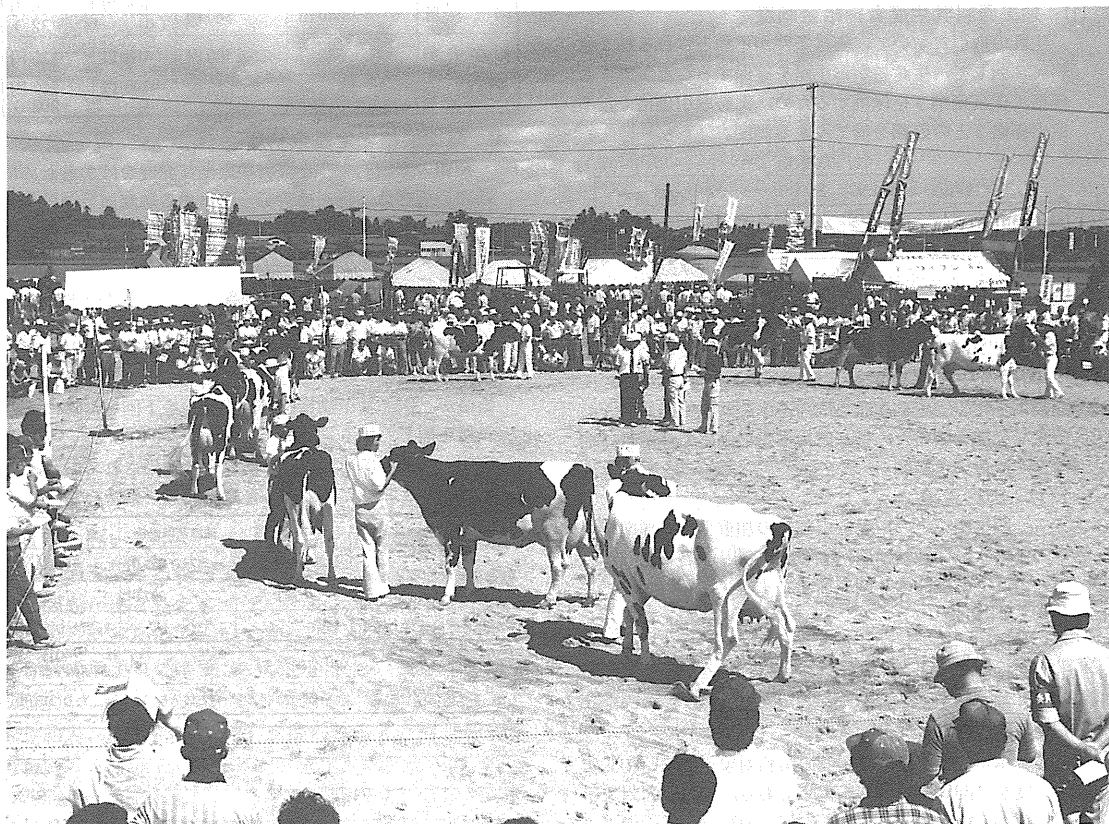
法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



第8回東北地区ホルスタイン共進会(於：古川家畜市場)

もくじ

- 畜産物の価格保証制度について…… 2
- 牛受精卵移植について…… 3
- 宮城県の生乳検査事業の概要と乳質の現況…… 4
- 本県で発生した牛の異常産について…… 5
- 肉用子牛の取引状況および
子牛価格安定制度等の推進について…… 6
- 豚産肉能力直接検定における最近の傾向…… 7
- 効果的な消毒方法について…… 8
- 簡易低コスト牛舎建設に向けての工夫…… 9
- 随 想…… 9
- 畜産物市況の展望……10
- 畜産物市況……10

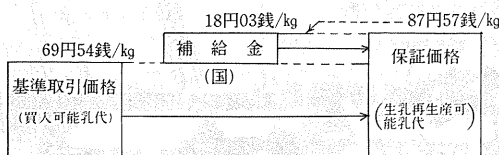
畜産物の価格保証制度について

宮城県畜産課

畜産物の価格保証制度については、畜産物の長期かつ安定的な供給と生産者の経営の安定を図る目的からそれぞれの畜種において実施されておりますが、ここにその概要について紹介しますので、趣旨及び内容を理解され、今後の経営改善の一助にさせていただきたいと思ひます。

(1) 加工原料乳生産者補給金制度

生乳の取引において、価格条件が不利とされる加工原料乳に対して、生産者が再生産を確保することができる価格(保証価格)を保証するため、実勢取引価格(基準取引価格)との差額を補てんする制度。



補てん金の財源は全額国庫補助金で、限度数量(全国230万トン、本県25,405トン)の範囲内で支払われる。

(2) 肉用子牛価格安定基金制度

肉用子牛の安定的生産と肉用子牛経営(繁殖経営)の健全な発展を図るために、肉用子牛の価格の低落時に補給金を交付する制度。

① 肉専用種

四半期ごとの市場取引価格の加重平均(標準取引価格)が保証基準価格(292,000円)を下回った場合、その差額の9割を補てんする。

② 乳用種

四半期ごとに国で算定する標準取引価格が保証基準価格(134,000円)を下回った場合、その差額の9割を補てんする。

③ 積立金

本年度の中では4年間の業務対象年間(昭和59年度から62年度まで)を定めており、前の業務対象年間から継続加入している肉用牛の積立金は1頭当たり11,120円。このうち生産者の負担は4分の1の2,780円で残りは国が2分の1、県が4分の1の割合で4年間で分割して積立てます。

新規の加入牛の積立金は1頭当たり36,528円で負担率は継続牛と同じですが、分割積立ではなく、加入時に一度に積立てます。

(3) 畜産物価格安定制度

系統機関を利用した計画的な生産、出荷を図るために生産者が農協、経済連を通じて出荷した対象肉畜(肉豚、和牛去勢、乳用牛去勢)の枝肉価格が基準価格を下回ったときに補てんする制度。

畜種別	基準額	補てん基準価格(1kg当たり)	最低基準価格(1kg当たり)	補てん基準単価(1kg当たり最高額)
肉 豚		580円	540円	上物以上 40円 (中物 32)
和牛去勢	1,830円		1,400円	中物以上 430円
乳用牛去勢	1,350円		1,090円	中物以上 260円 (並物 208)

(4) 鶏卵価格安定基金制度

鶏卵の安定的生産と経営の健全な発展をはかるために鶏卵の価格低落時に補給金を交付する制度。

全農系と商系に大別されますが、国で算定する標準取引価格が保証基準価格(227円/kg)を下回った場合、その差額の9割を補てんする。

(5) ブロイラー価格安定基金制度

系統機関を利用した計画的な生産・出荷をはかる為、生産者が農協・経済連を通じて出荷したブロイラーと体価格が、保証基準価格(246円/kg)を下回った時にその差額を補てんする。

(4)、(5)ともに補てんは、積立金で運用されており、内訳は表のとおりです。(畜産流通係・畜産経営係)

制度名	対象種目	補填基準価格	買入価格
鶏卵価格安定基金制度	鶏卵(全農系)	kg当たり227円	-
	"(商系)	"227円	-
㈱全国液卵公社買上制度	鶏卵	-	kg当たり238円

制度名	対象種目	補填基準価格
ブロイラー価格安定基金制度(全農系)	ブロイラー(と体A級)	kg当たり246円

生産者に対する補填		積立金	
価格差90%	kg当たり	生産者5円、経済連50銭	全農75銭、農協50銭
	"	生産者5円、専門農協1円	全農75銭
卵価kg当たり238円以下の場合買出動		-	

生産者に対する補填等		積立金	
価格差の100%	と体1kg当たり	生産者5円、経済連1円25銭	農協41銭、全農3円34銭
	10円		

"加美グリーンで豊かな土づくり"を

(製品届出番号-宮城県第731号)

名称 加美グリーン
 成分内容 本品は鶏糞等を高温発酵させたもので、どの作物に使用されてもへい害はありません。この施用により土壌pH8.6が保たれますので土壌改良資材として最適です。(水分30% N 2.60%-P 6.18%-K 3.19%)
 小売単価 1袋15kg 320円(バラ売り可)
 製造販売元 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付7-1)(TEL 0229(65)-4336)



飼い上手 育て上手は……
 みのたに……で
 動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL883121
 山形店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL883121
 仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL254306
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL240963
 いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

牛の受精卵移植について

宮城県畜産試験場

牛受精卵移植については、宮城県（畜産試験場）では昭和58年度より取り組んでおり、昭和60年度の成績の概要は表に示すとおりである。

表

受精卵回収成績

受精卵回収頭数	回収(正常)卵数	平均回収(正常)卵数/頭
26	122	4.7

受精卵移植成績

	移植頭数	受胎頭数	受胎率
新鮮卵移植	29	6	21.0%
凍結卵移植	11	4	36.4%
全体	40	10	25.0%

(全国平均 21.8%)

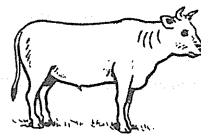
60年度における受胎率は全国平均をやや上回る水準に達している。このうち、凍結卵移植の方が新鮮卵移植よりも高い受胎率であったが、これは新鮮卵移植の際の移植を受ける牛(受卵牛)の性周期の同期化等に一部問題があったためではないかと思われる(一般には、新鮮卵移植の方が受胎率が高いとされている)。

今後は、より効率的な受精卵回収法、受精卵の処理(凍結)・保存法についての開発や受精卵の分割等に取り組み、より高い受胎率が得られるよう試験研究を重ねていく予定である。

しかしながら、現状のままでは回収する受精卵の数に限りがあり、多くの希望農家での技術利用は困難であるように思われる。

実的な普及のために検討されるべき課題として、次のような事があげられる。

1. 受精卵移植技術の利用法
肉用牛・乳用牛の受精卵を乳用種・肉用種・交雑種等の牛に移植する際、様々の活用法が考えられるが、それぞれの活用法のメリット・デメリットを十分に考慮する必要がある。
2. 本技術は繁殖障害対策ではない
健康で繁殖成績の良い牛だけが、本技術の利用の対象となり得る。
3. どのような牛から受精卵を回収するのか
本格的普及にあたり、受精卵を回収する牛(供卵牛)や交配に用いる種雄牛の基準をもうけるべきである。
4. 誰が受精卵を回収するのか
供卵牛の過排卵処理・受精卵の回収・検査・処理のためにはかなり熟練した技術を要する。
5. どの牛に移植するのか
受卵牛の選定基準や受卵牛専用の牛群(交雑種等)の必要性についても検討する必要がある。
6. 受精卵移植に要する経費は
 - ① 供卵牛の損失補償(現行では、供卵牛側には何のメリットもない)。
 - ② 過排卵処理・回収に要する経費(薬代、精液代、技術料)。
 - ③ 移植に要する経費(薬代、技術料)。
7. 受精卵移植により生まれた子牛の育成等
以上のように実際の普及に際し、考慮検討されるべき事項は決して少なくない。
従って、個人でのこの技術の利用は困難であり、今後の普及のためには、農協・酪農組合・和牛改良組合等のような、牛の集団と技術者集団を確保した上での組織的取り組みが実際的であろうと考えられる。
(受精卵研究科 石川勇志)



<p>ビフィズス菌は ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。 活きたまま腸までとどきます。</p> <p style="text-align: center;">ビヒダス® <small>ビヒダス</small> ヨーグルト 500ml</p> <p style="text-align: center;">宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号 ☎ (022) 384-5181</p>	<p style="text-align: center;">飼料 は みのり</p> <p>採卵鶏用配合飼料 肉牛用配合飼料 ブロイラー用配合飼料 乳牛用配合飼料</p> <p style="text-align: center;">北日本飼料株式会社 石巻市川口町3丁目2番8号 TEL 石巻 0225 (95) 4171~4</p>
--	---

宮城県の生乳検査事業の概要と乳質の現況

社団法人宮城県生乳検査協会

本協会は、宮城県、宮城県生乳販売農業協同組合連合会および宮城県乳業協会（現在は県牛乳協会）の3者が会員となり、昭和46年10月22日に設立されました。生乳の検査事業を主目的とする公益法人の検査機関としては全国の草分けでありました。その後全国的に生乳検査機関・体制を整備する事業が農林水産省で進められまして、畜産振興事業団が、国の示した基準を満している検査機関に対して出資することになり、昭和53年5月に畜産振興事業団より出資を受け、現在4会員で構成されています。全国的な検査体制の整備事業を進めるにあたっては、本県が宮城方式としてモデルとなりました。

本協会の設立の目的と主な事業は、適正な取引きの助長と県内の統一検査を実施し、生乳品質の改善向上を期すため、(1)日本農林物資規格に基づく県内統一検査体制の確立と本協会を中心とする検査業務の集中管理。(2)生乳の成分および細菌検査に基づく乳質改善の推進。(3)生乳の残留農薬、抗生物質等の検査技術の統一、その他を実施するよう定められています。

現在では、生乳取引に係る格付検査、生産者個人に対する乳価配分に係る検査、県内乳質を把握し、乳質改善推進の基礎資料を作成する検査、受託検査として乳用牛群改良事業の検査、学校給食用牛乳品質検査などの検査事業を中心として、県内乳質の改善向上を進めるための研修事業（集乳業務従事者、各団体に生産者の指導および受入検査等を担当する職員の技術向上と理論の習得が目的）、講習会および現地調査指導事業を柱とする諸事業に取り組んでおります。

本県の乳質は年々向上しており、良質な生乳が生産されています。成分的乳質および衛生的乳質の月別推移について図1および2に示しました。脂肪は安定的な推移を示しており、年間平均は3.60%前後であり、

図1 成分的乳質の月別推移

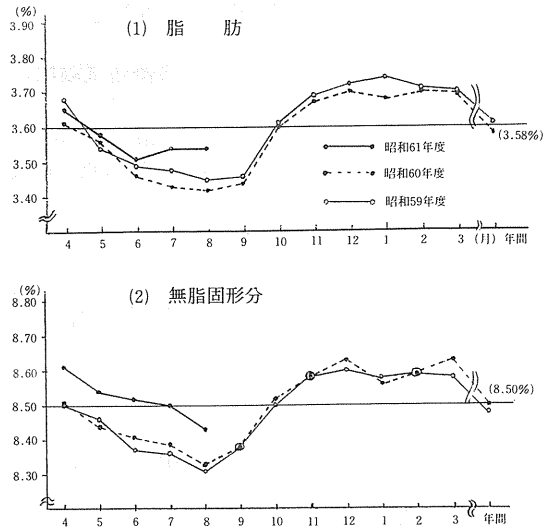
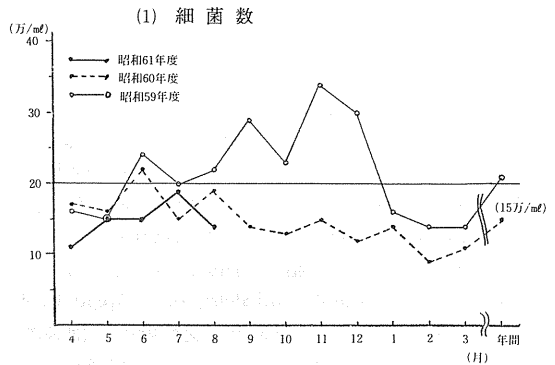


図2 衛生的乳質の月別推移



無脂固形分は年々向上しており年間平均8.50%になっています。本年度は夏期の暑熱期が短かく、また飼料価格が値下がりする等生乳生産条件が好転していることから、成分的乳質は前年比で相当顕著な向上を示しております。

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事
 さく井工事 設計・施工
 ポンプ工事
 水処理工事

株式会社 北辰技術

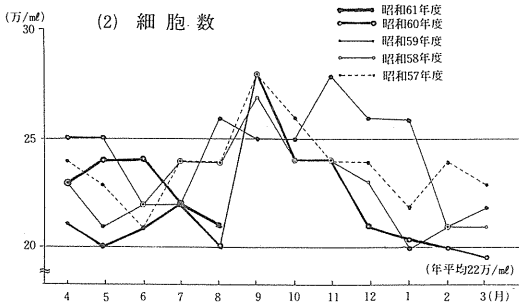
仙台市鉄砲町18番地
電話(022)(293)2461

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全業工業株式会社



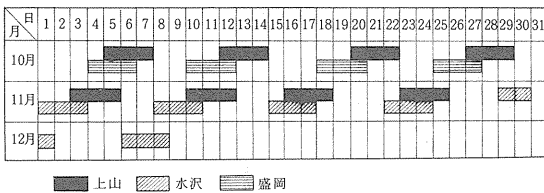
衛生的乳質では、細菌数は年々改善され、年間平均が15万/mlで、全国上位水準の乳質になっています。また細菌数は、通称ロングライフ牛乳の常温流通化に対応し、LL牛乳では30万/ml以下のもの、他の飲用牛乳には100万/ml以下のものを使用するよう厚生省の指導指針が提示されておりますので、さらに向上するよう努めたいものです。細胞数は乳房炎と深い関係がありますが、年間平均は22万/mlで、全国第1位にランクされています。細胞数は猛暑期直後に増加する傾向が認められますので、乳房炎の発生防止対策は夏期に重点的に取り組むことにより大きな効果が期待できます。今後は成分的乳質の向上を重点課題として、総合的に乳質水準を高めていくよう努めていく必要があります。

(荒井威吉)

地方競馬の益金は畜産振興に役立っています。

馬券を買うなら地元競馬へ…(上山, 盛岡, 水沢)

開催日



本県で発生した牛の異常産について

宮城県畜産課

昭和60年の秋以降、青森県、岩手県を中心に牛の異常産が多発し、本県においても60年11月から61年4月までに229頭の発生をみております。うち16頭について細密検査を実施したところ、12頭がアカバネ病によるものと判明しています。

アカバネ病は胎齢期にカまたはヌカカなどの吸血昆虫によってアカバネウイルスが伝播、感染し、発病するもので、流産、死産および奇型の2つの型に大別でき、そのうち、後者は先天性の関節湾曲症および大脳欠損を伴います。

ところが、検査した子牛の中に小脳の形成不全あるいは一部欠損も認められ、これらの所見は病理学的に従来のアカバネ病の範疇を逸脱するものでした。

丁度、時期を同じくして鹿児島県を中心とする南九州地域においても牛の異常産が多発しており、これらは、病理学的あるいは疫学的、血清学的調査結果から、従来のアカバネ病とは異なるものとの見解がとられ、農林水産省家畜衛生試験場を中心とした精力的な研究の結果、オルビウイルスというアカバネ以外のウイルスがつきとめられていました。

そこで、本県の異常産子牛の血清を九州支場に送付し、オルビウイルスとの関連を検査しましたが、全て陰性との結果が得られました。以上の経緯を踏まえ、本県における異常産の発生はアカバネ病によるものとの結論に達しています。

アカバネ病対策として、本県での発生が青森、岩手両県と比較的少ない点は、従来からのワクチン接種の励行によるものであり、今後とも予防に関してより一層の充実をはかる考えですが、飼養者の皆様にあつては妊みて夏を越す牛について積極的にワクチン接種をうけるようにして下さい。

(衛生係 川村芳夫)

クスの総合卸



株式会社 エーシン

(旧 株式会社山田仙寿堂)

代表取締役社長 山田修造

本社 仙台市卸町二丁目10番の3
 事業本部内 仙台市木町通一丁目5番19号 TEL(大代表)265-3151
 畜産営業所
 古川店内 古川市福浦字道の137-1 TEL 0229-24-1211
 畜産課

くみあい配合飼料で 健やかな子豚づくりを

- * 子豚代用乳
ビグメイト (豚免疫グロブリン入)
- * 子豚人工乳
ミニベレ (ミニベレットミルク)
- * 標準繁殖豚用
ニューハイブリード72 (フレーク入)
- * 授乳期繁殖豚用
ニューハイブリード76 (カロリーアップ)



農協・宮城県経済連・全農

肉用子牛の取引状況および子牛価格安定制度等の推進について

宮城県肉用牛価格安定基金協会

最近における本県の肉用子牛価格安定事業および肉専用子牛の生産拡大奨励事業などに関連して次のとおりその概要について報告いたします。

1. 最近の肉専用子牛の市場取引状況

本年4月から7月までの県内子牛市場成績は次のとおりで当基金の保証基準価格(292千円)を大きく上廻っている。また全国上位の取引県は別表のとおりである。

(1) 県内の月別子牛市場の取引状況(県内全部の市場)

月別	市場開設ヶ所数	性別	取引頭数	平均体重	体重1kg当り単価	1頭当り平均価格
昭61. 4月	4	雌	702頭	256kg	1,079円	276,001円
		去	805	291	1,220	354,614
		計	1,507	274	1,159	317,994
5月	8	雌	1,029	257	1,160	298,028
		去	1,265	286	1,292	369,753
		計	2,294	273	1,236	337,580
6月	4	雌	629	262	1,162	304,766
		去	697	291	1,272	370,016
		計	1,326	277	1,223	339,064
7月	11	雌	1,328	259	1,165	301,734
		去	1,532	289	1,298	374,847
		計	2,860	275	1,240	340,898

(註) 8月市場は本県の場合は開設されていません。

(2) 全国における肉専用子牛の上位県の取引価格(指定市場)

順位	昭61. 4月市場	5月	6月	7月
1位	兵庫県 377,405円	岐阜県 400,911円	島根県 367,334円	岐阜県 441,549円
2	鳥取県 335,052	兵庫県 358,024	兵庫県 359,384	兵庫県 401,494
3	岡山県 319,649	島根県 345,128	宮城県 346,661	島根県 389,261
4	鹿児島県 318,262	宮崎県 341,201	岩手県 332,054	佐賀県 345,635
5	岩手県 312,581	宮城県 339,512	佐賀県 326,471	宮城県 344,124
備考	6位 宮城県	6位 長野県	6位 京都府	6位 宮崎県

註 上位県とは月別における雌雄1頭当りの市場取引平均価格が全国的に5位の範囲に位する県とする。

2. 基金への加入契約頭数の状況

県内の肉専用種繁殖雌牛頭数と契約頭数との関係は次のとおりで昭和61年度は91.2%の加入率となった。

肉専用種繁殖雌牛の飼養頭数と基金契約頭数の推移

年度別区分	昭和56年度	57	58	59	60	61	備考
繁殖雌牛	19,700頭	21,300	26,400	28,700	27,400	29,500	繁殖雌牛とは子取り雌牛頭数を示す。
既契約	13,600	16,600	18,600	19,600	22,600	25,100	
新規(増額)	3,000	2,000	1,000	3,000	2,500	1,800	
計	16,600	18,600	19,600	22,600	25,100	26,900	
加入率	84.3%	87.3	74.2	78.7	91.6	91.2	

(註) 乳用雄子牛の契約頭数2,800頭(昭和55年度から変化なし)

3. 昭和60年度肉用子牛生産者補給金, および生産拡大奨励金の交付状況は次のとおりであり, 国, 県は経営拡大のため意欲的に対策を進めている。

昭和60年度肉用子牛生産者補給金および生産拡大奨励金交付状況調

肉用子牛生産者補給金		肉用子牛生産拡大奨励金				交付金額
1・四半期交付(単価8,707円)		生産拡大奨励金(単価2万円)		生産奨励金(単価1万円)		
戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	千円
3,048	4,032	35,106	624	608	1,873	37,460
		7,745	12,101	121,010		158,470

(註) 肉用子牛生産拡大奨励金の戸数は計画参加生産者数である。

以上の状況であります肉専用子牛の市場取引価格は今後上向きの状況にあること。また長期的には昭和63年初めに妥結が想定される日米豪牛肉交渉の如何が子牛価格にも影響されるなど充分考慮すること等からその価格安定のためにも基金加入率を高め補てん準備金の充実を図ることが肝要であります。

(専務 鹿又久雄)

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 73330・73338・73339

仙台営業所 仙台市上杉三丁目3-8

022 (225) 7338~9

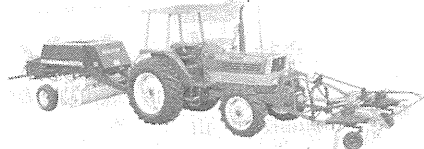
山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

0229 (34) 2018~9

WORLD トラクタ



株式会社 五十嵐商会

仙台市卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

< 畜試便り >

豚産肉能力直接検定における
最近の傾向

1. はじめに

畜産試験場では、県内の種豚場で生産された雄子豚の中から、産肉性に優れた種雄豚を選抜し、種豚の改良のために豚産肉能力直接検定を行なっている。そこで、近年需要の多いデュロック種(D種)と母豚の基礎となるランドレース種(L種)について、56~60年に検定を実施したものについて検討を試みた。

2. 検定申込者数と検定実施頭数

D種については、検定申込者及び検定頭数とも増加しているが、L種では最近の交雑種利用の傾向を反映し、申込者数、頭数とも著しく減少しており合格率も同様に低下している。

第1表 検定申し込み者数と検定頭数

品 種	デュロック種				
	年度	56	57	58	59
申込者	9	9	7	15	17
頭 数	87	43	40	45	60
合格数	66	25	31	28	43
合格率	75.8	58.1	77.5	62.2	71.7

品 種	ランドレース種				
	年度	56	57	58	59
申込書	15	10	11	12	6
頭 数	47	20	28	17	10
合格数	10	8	19	11	2
合格率	21.3	40	67.8	64.7	20

合格率：%

3. 検定成績の推移

検定は1日平均増体量(D.G)、飼料要求率(FCR)、背脂肪の厚さ等について、各品種ごとの基準により判定されているが、その成績は次の通りである。

56~60年に検定の終了した、D種275頭、L種122頭について、各成績ごとと平均値の差の検定を行った。D.G、FCRについては年度毎のバラツキが大きく一定の傾向を把握することは難しかった。しかし背脂肪(第2表)では、D種が、56~58年と59~60年に5%の有意差が認められ、L種でも56年に対し57~58年と59~60年に5%の有意差が認められた。両品種とも背脂肪は漸次薄くなって来ている。また、ロース芯もD種では年々太くなる傾向にある。(第3表)30kg到達日齢はあまり変化は見られなかったが、60年において有意に遅れている。これは、検定開始直前に搬入する例が多く、予備検定期間が短く、飼料の急変により摂取量が少なく発育の停滞によるものと考えられる。

第2表 背脂肪の厚さ

年度	デュロック		ランドレース	
	n	Mean ± S. D	n	Mean ± S. D
56	87	1.37 a 0.11	47	1.67 a 0.29
57	43	1.32 a 0.41	20	1.51 b 0.33
58	40	1.36 a 0.14	28	1.53 b 0.17
59	45	1.27 b 0.15	17	1.39 c 0.14
60	60	1.28 b 0.17	10	1.41 c 0.12

異符号間に有意差あり

第3表 30kg到達日齢とロース芯の太さデュロック

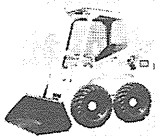
年度	30kg到達日齢		ロースの太さ	
	n	Mean ± S. D	Mean ± S. D	
56	87	75.0 a 7.69	31.1 a	2.0
57	43	75.2 a 7.75	31.2 a	2.6
58	40	76.9 a 7.84	33.6 b	1.8
59	45	76.8 a 8.17	32.8 a	1.7
60	60	77.9 b 6.40	34.0 b	2.4

異符号間に有意差あり

4. 搬入体重と搬入日齢がD.G、FCRに及ぼす影響

検定を実施するにあたり、検定調査豚を搬入する目標として何kg時、何日齢がよいのかを見てみた結果、搬入体重は搬入日齢に比べ検定成績にあまり影響を及ぼしてはいなかった。搬入体重と搬入日齢の間には、 $\hat{y} = 18.25 + 0.1238x^{(1)}$ 、搬入日齢とD.Gでは $\hat{y} = 101.32 - 0.036x^{(2)}$ の回帰式が得られた。2)式にD種の検定最低規準D.G 640gを入れると搬入日齢は78.28日とな

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-235-5511~5517

牧場用柵には
強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼鉄仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 02277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 02277771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 0246221

り、1)式から搬入体重は27.9kgとなった。したがって、検定豚の搬入には少なくとも、79日齢以前で28kgまでに搬入することが望ましいといえる。

第4表 単相関係数

変量↓	変量→搬入 kg	搬入日齢
搬入 kg	1	0.392 **
搬入日齢	0.392 **	1
30 kg日齢	-0.283 **	0.518 **
90 kg日齢	-0.048	0.402 **
D . G	-0.061	-0.292 **
F C R	0.073	0.277 **

P<0.01
**

まとめ

- 検定申込者、検定頭数ともにD種は増加して来ているが、L種は減少しており今後資源の減少が憂慮される。
 - D、L種ともに背脂肪は漸次薄くなりつつあり改良の効果が現れ、特にD種ではロース芯も太くなってきている。
 - 検定豚を搬入する際、その目安としては79日齢以前で28kgまでに搬入することが望ましいことになる。
- 今回、D.GとFCRについては、くわしい検討が出来なかったが、今後各農家の改良度合を加味して解析を進めていきたい。(種豚家きん部 長谷部博昭)

= 訂正とおわび =

本紙前号(第100号)に掲載しました「水稲ホールクroppサイレージ利用による肉用牛の肥育技術」の表中で一部誤りがありましたので、訂正しておわび申し上げます。

		誤		正	
		I区	II区	I区	II区
と体成績	枝肉等級		0.5	0.5	0.5
販売価格	一頭当たり販売価格(円) (枝肉単価)	635,963 (1,648)	606,009 (1,578)	606,009 (1,578)	635,963 (1,648)

効果的な消毒方法について

周知のように現代の畜産経営形態は多頭化による大規模集約化がますます促進される傾向にあり、それに伴い、大切な財産である家畜が伝染病の汚染をうける機会も増加している現況にあります。

このような状況に対応するためには、ワクチンによる予防、あるいは消毒の徹底等、家畜衛生の基本を遵守することが大切ですが、特に後者については実際に効果のあがる方法について問い直してみる必要があるかと思われます。そこで、今回は効果的な消毒方法についてとりあげてみました。

畜舎の消毒にあたっては、まず、ボロ出しと水洗いを必ずして下さい。消毒薬は多かれ少なかれ糞や土等の有機物により効果が低下します。次に消毒薬を散布しますが、1坪当り3ℓを目安とします。消毒薬が畜舎のすみずみまでいきわたるようにし、特に天井側壁にも気を配って下さい。また、消毒薬の効果は高温で強まり、低温では弱くなるので、消毒薬の希釈には冷水を用いる代りに温湯または熱湯を用いるのが有効で、スチームクリーナーの利用は効果的です。このような配慮は特に冬場で生きてきます。但し、ヨードや塩素は高温による蒸発でかえって殺菌力が低下するので、薬剤濃度を濃くする方がよいでしょう。

踏込消毒槽については薬液の交換が重要なポイントです。逆性石ケン液では5〜6日に1回、フェノール剤では毎日、ヨウ素剤では2日毎が適当であるとされています。また、冬場の凍結を防ぐために希釈に不凍液を使えば、-20℃でも凍らず、殺菌力も500倍逆性石ケン液で十分実用できることが確かめられています。消毒は効果的な方法で実施したいものです。

詳しくは、最寄の家畜保健衛生所ならびに家畜畜産物衛生指導協会にお問い合わせ下さい。

(仙台家畜保健衛生所 病性鑑定課 木船厚恭)

より豊かな明日の農業のために

STAR

頼もしい働き者
牧草梱包稲わら梱包に!!

Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX、Mr4000DX



ハーベラーTHB2020

STAR-農機株式会社 仙台営業所

9 8 3 仙台市福田町2丁目4-20佐正ビル内
022-258-7301

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 0229238888(代)

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	

家保だより

簡易低コスト牛舎建設に
向けての工夫

迫家畜保健衛生所

肉用牛振興を図るうえで、不可欠な要素として「いかに安く、使い良く衛生的な牛舎を作るか」ということがあげられますが、いざ建設しようとしても、具体的「簡易低コストモデル牛舎」の提示がなく、その場各に頭をひねり対処して来たのが現状といえましょう。昨年、迫管内における牛舎建設具体事例にみる知恵と工夫を一冊の指導資料としてまとめることが出来ましたので、その主な工夫点を紹介したいと思います。

1. 既存建物の増改築、再利用をする。
今は使用していない「木小屋」「納屋」等があればその内部改築や「下屋」をおろしての増改築をする。
2. 建設材料の自給や古材の活用をする。
柱や牛房の「間仕切り」に古電柱や間伐材、足場パイプの活用を、又屋根や壁材として古トタンやシート、住宅や学校等解体時のドアや戸も利用する。
飼槽も「U字管」やパネル板、ドラム缶等工夫しだいで利用価値は高いものです。
3. 規模を必要最小限におさえ、見栄、無理をしない。
4. 自分達で出来る限りの仕事は、自家労働力の活用をする。
5. 固定資産評価対象となるので、サッシ、シャッター二階構造は割高となるようですので十分検討する。
尚、今回の調査を通じ、特定施設届出、建築確認申請、農振施設用地への農用地転用、森林伐採届出等牛舎建設時において、事前に法的手続きを済ませておくべき項目に不備のものが散見されたので、該当項目についての確認が必要と言えます。また、安価に仕上げようとすあまり、公害衛生対策への配慮に欠けぬよう十分注意をお願いしたい点です。

最後に、皆さん方の身近にある優良な事例を冊子等にまとめ、全県的な「簡易低コストモデル牛舎」の提示と利活用に向け一層の相互連携が必要であることを申し添えます。

(指導課 佐藤 実)



随想

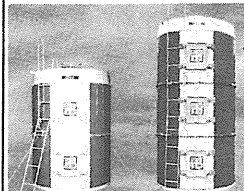
畜産物の消費に想う

21世紀を15年後に控え日本をめぐる諸情勢は激動しつつ、各方面にわたり変革の時期を向えている。畜産業界にとっても国際収支の不均衡を是正するための農畜産物の輸入自由化要求や財政改革による補助金の見直し等で風当たりが強まってきている。これに伴ない社会情勢の変化に対応するため畜産業の構造も徐々に変化しつつあるが、大きな社会の流れと比較すると全く小さいもののような気がする。このような状況が続けば、その歪みが増大し近い将来、一気に爆発するともかぎらない。変革を拒むことは時代おくれだけでなく危険であると考えるのは私だけだろうか。

国民の食料を安定的に供給することは農業の重要な役割であることは変わりはないけれども、食料不足の時代からの努力によって生産性が著しく増大し、さらにバイオテクノロジーで生産性を飛躍的に高めようとしている現在、消費構造を大きく変えていく必要がある。もちろん、消費拡大が声高に叫ばれてはいるが、具体的な方策がとられているとは言い難く、そのための人材など皆無に等しい。これまで生産性向上のために払われた努力と同じくらいの努力が必要である。ありとあらゆる食品が所狭しと並べられ飽食の時代と言われているが、一般の食生活は欧州などと比べれば必ずしも豊かになったとは言い切れない。日本人は食品があっても、どのように利用したらいいか分からないようだ。特に歴史の浅い畜産物はその傾向が強い。その結果として、乳製品の消費などは酪農先進国の数十分の一に留まっている。東京には数時間、行列に並ばないと買えないアイスクリーム店や、牛乳を使ったドリンクを専門に出すミルクバーがあるそうだが、一般家庭でお茶や漬物の代わりに自家製のチーズやヨーグルトを消費する時代が来ることを切に望むものである。

(仙台家畜保健衛生所 嶋田俊治)

- ※ 肉用牛の飼養には是非サイレージを
- ※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

- O S M-10 10㎡
- O S M-15 15㎡

オリオン機械株式会社

- 仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 294-0691代
- 仙北出張所 築館町字久伝 TEL 22-9242
- 仙南出張所 大河原町幸町 TEL 53-3355

畜産物市況の展望

肉牛 10月の国産成牛出回り量は和牛43千頭、乳用種82千頭成牛全体で132千頭(前年同月比95.6%)と予測され、和牛は減少、乳用種は駄牛淘汰もあり横這いと予想される。

需要は焼肉から鍋物への端境期のため一時的な減退が予想されるが、月後半は年末にむけての手当て買いが始まり活発化するだろう。

以上のことから、和牛去勢中物1,850円、乳用去勢中物1,320円中心の動きか。

肉豚 農水省発表による10月の全国肉豚生産出荷頭数は197万頭(前年同月比100%)と予測される。

一方、加工用については依然底堅い伸びを示すものと推測されるが、季節の食品が出回るため需要の伸びはあまり期待できないものと予想される。

以上のことから10月の相場展開は弱含みで推移するものと予想され、月間平均530円中心の動きとなろう。
食鳥 農水省発表による10月の全国出荷羽数は6,486万羽(前年同月比102%)とやや前年を上回り、更に季節的にも重量の伸びが加わることや輸入量の増加から供給過剰は強まると予想される。

秋の行楽シーズンに入り消費は上向くが、供給増をカバーしきれないことから、9月より下落し弱含みの展開が予想され、月間平均と体大型215円、正肉450円中心の動きとなろう。

鶏卵 気温の低下による産卵率の回復と今年の春ヒナ導入が多いことから出荷量は増えるものと予想され、秋以降の生産過剰傾向が懸念される。

気候も涼しくなり末端の消費回復、行楽シーズン等需要の伸びが期待されるが、供給過剰の兆しもあって例年のような高値は期待できず月間平均Mサイズ265円中心の動きとなろう。

飼料 とうもろこしのシカゴ定期は、①作付面積が減少したにもかかわらず、反収が史上最高となることから、昨年に次ぐ史上2番目の豊作が確実、②各国向けの輸出が低調に推移している。③来年度の期末在庫数量が需要量の約9ヶ月分と史上最高に達する見込みなどから安定した相場展開で推移している。

大豆粕価格は7月以降の大豆粕シカゴ定期の堅調な推移、国内における大豆搾油量の減少等不安材料はあるものの、比較的安定して推移している。魚粉価格についても、7月1日に解禁となった道東イワシ漁が順調なことから相場は安定的に推移すると考えられる。

外国為替相場は、日米独の協調利下げの期待感等を背景にドルの下げどまり感が出ているものの当面は現行水準を中心とした円高基調で推移するものと予想される。

(宮城県経済連 食肉養鶏課 横山)
" 飼料課 石井)

畜産物市況

種目	規格単位	単価	前月平均価格差	摘要	
生	和牛メス	1頭	701,281 ^円	14,424 ^円	経済連 黒川市場 } 9月平均 番連 小牛田市場 }
			612,099	6,305	
	和牛スキ	"	857,206	17,206	経済連 黒川市場 } 9月平均 番連 小牛田市場 }
			737,000	△18,912	
牛	乳牛スキ	"	578,245	5,768	経済連 黒川市場 } 9月平均 番連 小牛田市場 }
			550,414	△17,296	
	和牛子牛	"	-	-	指定市場規格牛
	ベビー豚	"	13,984	△ 375	経済連 黒川市場 } 9月平均 番連 小牛田市場 }
"		15,287	△ 134		
レギュラー豚		"	21,644	821	
枝	和牛メス	上	2,183	13	仙台市場 9月平均
		和牛スキ	"	2,210	
	"	中	1,889	51	
	乳牛メス	"	1,352	25	
肉	乳牛スキ	"	1,347	△ 36	註：前月平均価格差の△印は 安値を示す。
		上	605	△ 74	
	豚肉	中	571	△ 79	

第3回ミルクレディーコンテスト 参加者募集中!!

宮城県牛乳普及協会では健康で明るく牛乳の大好きな「ミルク・レディー」を募集中。宮城県内にお住いの18~24歳までの未婚の女性ならどなたでも応募出来ます。(高校生は資格なし)ミルクレディーに選出されますと年間を通じて当協会のTV・ラジオ・新聞・ポスターなどのPRキャラクターとして、又、当協会の主催及び参加する各種イベントのお手伝いをしていただきます。(イベント等に参加可能な方)

応募方法

最近(3ヶ月以内)撮影した写真、上半身と全身各1点(紙面に氏名記入)と簡単な自己PR(推薦文)を添えて、住所・氏名・生年月日・身長・体重・3サイズ(B・W・H)・職業(学校名と学年)と電話番号(平日連絡のとれる所)を明記の上、封書でご応募下さい。自薦・他薦は問いません。

書類審査の上、10名を選び10月28日(日)エスパルにて、決勝大会を行います。

●あて先/〒980 仙台市錦町1-6-5 宮城県牛乳普及協会

「第3回ミルクレディーコンテスト」係
☎022-283-7688

●締め切り/昭和61年10月14日(必着)

ミス・ミルクレディー.....1名

記念のトロフィー・金メダル・表彰状と、副賞として「全日空で行く沖縄2泊3日の旅(ペア)」、協賛社よりの記念品進呈!

準ミス・ミルクレディー...2名

記念のトロフィー・金メダル・表彰状と、副賞として「全日空スキーア-北海道2泊3日の旅(ペア)」協賛社よりの記念品進呈!

優秀賞.....7名

記念の銀メダル・表彰状と、副賞として旅行クーポン1万円相当、協賛社よりの記念品進呈!

主催/宮城県牛乳普及協会

後援/宮城県・農林水産省・畜産振興事業団・他

※お近くにミルクレディーとして最適な方がいらっしゃいましたらご推薦下さい。